



園原

宮坂静生

林なす水音や春の園原は  
山川の湍にくだけたる雛祭  
老残の檜の夢にははき草  
泣き尽したる三月の翬檜  
群肝や三・一一の九年目  
土塊の蛙媾合紅蓮なす  
いのちはも蛙軍の水ねばる  
数珠子から息づき天の神坂山

山賤の長者屋敷やいもりの巢

風音をいもりの耳がよろこぶよ

東山道神坂

暮白の滝浅春は棒の刻

猪畏のひらき満蒙忘れ得ず

背に泥土担ひて春の観世音

雪代や骸の目をつぶらざる

つぎつぎと空へ飛ぶ椅子雲雀野へ

崩壊の宙へ及べり暮の春